



News Release

2024年5月10日

各位

会社名 アジアパイルホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒瀬 修介
(コード:5288、東証プライム市場)
問合せ先 企画部長 鈴木 秀明
(TEL 03-5843-4173)

株主還元方針の変更に関するお知らせ

当社は、持続的な企業価値向上・事業展開とともに、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、安定した配当実施を基本方針としています。

当社はこの度の経営計画策定におきまして、更なる長期安定株主の確保に向け株主還元方針を下記の通り変更致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の内容

変更前	安定的な配当を前提とします。(連結ベースの配当性向 30%程度を目処)
変更後	安定的な配当方針を前提に、連結ベースの総還元性向 50%を目処とします。還元は主として普通配当によるものとしますが、当社の利益状況や自己資本状況を総合的に勘案し、特別配当や自己株式取得などの手法も活用いたします。

2. 変更の時期

2024年度(2025年3月期)より適用いたします。

3. 変更の背景

当社の国内事業は、2005年共同持株会社設立および2007年3社統合によるジャパンパイル誕生以来、従来のコンクリート製造業から、コンクリートパイルのみならず鋼管杭、場所打ち杭も含めたすべての杭種について設計・製造・施工を一貫して扱う総合基礎会社への転換を進めて参りました。

高品質の杭基礎を提供するため、建設関係機械の整備・拡充、工法開発や新工法向けの大径・高支持力コンクリートパイルの生産設備への投資を進めてまいりました。工場については当初の15工場の内、8工場を閉鎖するとともに3工場を新設し、量から質への転換をする等大幅な生産体制改革を実施しました。更に、設計や施工管理など基礎杭建設に精通した人材の養成等も行ってきました。

今後もビジネスモデルの変革に合わせて必要なリソースの再配置は確り行っている予定ですが、現在の体制は「総合基礎会社」として目指してきた一定水準に達しており、その成果を期待できる状況にあります。

以上の当社現況を踏まえ、今後の収益動向や資金需要なども勘案しつつ、株主の皆様への利益還元をより一層の重要な経営課題と位置づけ、上記のとおり株主還元方針を変更することいたしました。

※なお、2024年3月期における期末配当予想につきましては、本日公表の「2024年3月期配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」のとおり、直近の配当予想(2023年10月27日公表)の1株当たり15円に10円を加えた25円(年間配当は40円)に修正しております。

以上